

「ポット」
族の風俗

る、豈快事ならずや。

此地は凍氷十月に始まり融氷は三月とす、夏雨多しと。「ポット」族は、男子の頭は周圍を剃り辮髪すること、恰も支那人の如く、女子は垂髻數條に組み兩鬢に橢圓形の黒羊毛を結着し、頭上に幅約二寸の赤革に綠寶石（西藏産）を數列に附着するものを戴き、之を後頭部に垂れ、甚だ異様なり。男服は白衣赤縁（羊毛）女服は濃蝦茶色にして、共に氈毯（西藏産）と稱する粗絨を以て製す。窄袖左衽、束帶し女子は袴様のものを穿ち、頸飾、耳環、腕輪を用ひ、男子は間々喇嘛服の如きものを着るを見る。家屋は石壁平蓋の長方形にして、方窓を穿つ。故に遠く之を望めば、洋屋の觀あるも、其實甚だ粗造なり、床下を高くして、牛馬房に充てられ、不潔甚し。

九日、氣温午前四十三度、午後六十三度、午前九時四十分バナメッキ（チーハン）を發し溪流に沿ふて東下す、小坂あるも概ね平坦、兩岸小部落點在し、チーハンの白楊と混生するを見る、午後二時二十分、行程八里餘、タガル（チーハン）に着す。此間沿道花崗岩、綠泥岩、片麻岩多し、同村は戸數僅に十五のみ。

十日午前九時三十分發、東下約一里にして右折溪流に沿ひ、南に上りて、午後三時